

一、次の文章を読んで後の問いに答えなさい。(七〇点)

現生人類がどのような道筋をたどって進化してきたのか、今日ではDNAの分析から多くを推測できる。人類が遺伝的にキンエンなチンパンジーやボノボと袂を分かったのはおよそ二〇〇万年前、そのなかから進化したホモ属のうち和名ヒト、学名ホモ・サピエンスの現生人類が東アフリカで暮らし始めたのは二〇万年ほど前と推測されている。一二万年ほど前にヒトは新天地を求めて移住をはじめ、いくつもの経路を経てやがて地球上にあまねく分布することになった。

農業が始まる一万年ほど前までは、ヒトは食べ物も暮らしに必要なものも、ほぼすべてを採集・漁労・狩猟、すなわち広義の採集によって得ていた。農業開始後も、採集は重要な営みとして継続され、農地と共に生物資源の採集地である多様な樹林、草原、湿地がモザイクをなす環境で暮らし続けた。それに対して、食品を含む多くを工業品に依存する現代の暮らしの歴史は、二〇〇年程度に過ぎI。

生物の環境への適応進化には、何世代もの世代時間が必要である。ヒトが成人して子どもをつくるまでの約二〇年を一代として「あ」にすれば、適応進化に十分な時間なのかどうかを判断できる。ヒトが出現する前から人類が続けてきた採集は、何万世代、あるいは何十万世代も続いているので、私たちの心も体もそれに対して十分に適応しているはずである。ドングリや貝を拾うことが子どもたちの楽しい遊びであり、魚釣りや「くだもの狩り」が子どもも大人も楽しめるレクリエーションであるのはそれゆえだろう。

農業開始から現在までのヒトの世代数は四〇〇世代程度である。早くから牛を飼って乳を飲む暮らしを始め

た人々は乳糖を分解する酵素をもっているのに、ごく最近になってから牛乳を飲みはじめた日本人の中にはこの酵素を持た Ⅱ 人が多いことなどから、栄養セツシユoに関する生理的適応が起こるにはそれが十分な世代数であることがわかる。しかし、体と心の多くの特性の適応進化に十分な時間ではなく、それらは未だ採集生活に適応しているといえそうiだ。

近代技術と工業にもとづく生活の継続は、一〇世代程度でしか Ⅲ ^② 私たちが、生物としては現代の生活に適応しえていないのは当然である。ヒトには、生物としての適応に加え、ヒト特有の文化的な適応、すなわち言語と教育による経験の共有や科学技術などによる適応の可能性がある。しかし、技術や社会の変化のスピードがあまりに速すぎて文化的な適応も追いついていないようだ。ヒトが自らが作り出した環境に生物的にも文化的にも適応でき Ⅳ ^③ という、不適応現象は、今後ますます深刻化する可能性がある。問題の解決には、^B 概して採集生活に適応したままの私たちの心が本来どのような環境を求めているのかをしっかりと認識することが必要だiiらう。

人類のふるさと東アフリカで私たちにつながるホモ属のヒトが誕生した頃の生息環境は、ホモ属の祖先の類や霊長類が暮らしてきた熱帯雨林の中でも、乾燥地帯の草原でもなかったようだ。初期のヒトが暮らしたのはサバンナであり、^{※2} 疎林そりん、草原、河畔林d、湿地などがつくるモザイク環境であった。変化に富んだモザイク環境において、多様な生物を採集して餌えさとする雑食の性質を強めたのがホモ属である。現生人類は、その特性ゆえに、幾多の環境変動を乗り越え、今日まで生き残ることができたといえそうiだ。

モザイク環境の一つの重要な要素である湿地では、貝や魚などのタンパク質を多く含む多様な餌がとれる。そのことは次の二つの理由で、脳の発達を促したⁱⁱⁱだろう。第一に、タンパク質の豊富な餌をとることで、脳の発達のための栄養条件が満たされた^{iv}。第二に、変化に富んだモザイク環境を縦横に利用した多様な資源を採集する暮らしでは、感覚器官は絶えず^B複雑な刺激を受けると同時に、空間の認知と記憶の発達を促す強い選択^{※3}が作用する。環境のモザイク性がヒトの特別の知的能力を適応進化させた^vといっただろう。

環境モザイク性は、多様な樹林あり草原あり水辺もある「さとやま」の特徴でもある。モザイク環境への適応進化がヒトの知的能力を発達させたのだとしたら、さとやまで五感を^eトギ澄ましながら遊んだり、学んだりすることは、子どもたちの成長過程においても重要な意味をもつといえそうだ。

(鷲谷いづみ「ヒトを育んだモザイク環境」より)

〔語注〕

- ※1 モザイク…さまざまなるものを組み合わせで表したものを。
- ※2 疎林…樹木の枝・葉の密度が薄い森林のことを指す。
- ※3 選択圧…生物の進化において、選択を生じさせる、環境などの影響。

問一 ……線部 a s e のカタカナを漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで記しなさい。

問二 ……線部 α 、 β の語句の対義語を漢字で記しなさい。

問三 ……線部 A、B の語句の意味として適当なものを次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

A レクリエーション

ア 家族・知人の為に休みを取って行く、休養や旅行。

イ 仕事・学校の仲間との親ぼくを深めるための、遊戯や娯楽。

ウ 労働・学習の合間の空いた時間を取る、休養や食事。

エ 仕事・勉強のつかれをほぐすための、休養や娯楽。

B 概して

ア たぶん、おそらく。

イ だいたい、おおむね。

ウ はじめから、もともと。

エ いうまでもなく、もちろん。

問四 ……線部 i s v の助動詞の意味を次から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ア | 丁寧 | イ | 受身 | ウ | 推量 | エ | 伝聞 | オ | 意志 |
| カ | 使役 | キ | 尊敬 | ク | 断定 | ケ | 様態 | コ | 推定 |

問五 I、IVにはすべて「ない」という言葉が入りますが、「ない」を意味・用法によって二つに分けると、どのようになりますか。組み合わせとして適当なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア (I、II) と (III、IV) イ (I、III、IV) と (II)
 ウ (I、II、IV) と (III) エ (I、III) と (II、IV)

問六 あに入る適当な語句を次から選び、記号で答えなさい。

- 「アはかり イます ウものさし エそろばん」

問七 — 線部①「それゆえ」とありますが、どのような理由だと考えられますか、本文中の語句を用いて説明しなさい。

問八 — 線部②「私たちが、生物としては現代の生活に適應しえていないのは当然である。」とありますが、それは何故だと考えられますか、本文中の語句を用いて説明しなさい。

問九 — 線部③「私たちの心が本来どのような環境を求めているのか」とありますが、「私たちの心」が求めている環境とはどのようなものですか、二〇字以内で説明しなさい。

問十 次の一文が入る直後の五文字を本文中から抜き出しなさい。(句読点を含む)

- 「原子力災害は、見方を変えれば、その顕著な例の一つともいえるだろう。」

問十一 筆者は子どもたちの成長過程においてどのようなことが必要だと考えていますか、筆者の感じている現代生活の問題点にもふれながら説明しなさい。

二、次の各問いに答えなさい。(三〇点)

問 一次の①～⑤について、文脈に最もふさわしい語句を、ア～エの中から一つずつ選び、記号で答えなさい。

家族を残して、(①) 思いで故郷から旅立った。

〔ア 後ろ足で砂をかける イ 後ろ指をさされる ウ 後ろ髪を引かれる エ 後ろを見せる〕

彼のウソに私はつくづく(②) した。

〔ア 開口 イ 閉口 ウ 軽口 エ 一口〕

上司の指示が(③) するので困っている。

〔ア 朝開暮落 イ 朝三暮四 ウ 朝令暮改 エ 朝参暮請〕

彼は(④) には優秀な人に見える。

〔ア たれ目 イ わき目 ウ よこ目 エ はた目〕

幼なじみの彼と私は(⑤) 間柄だ。

〔ア 気の利かない イ 気の置けない ウ 気の抜けない エ 気の知れない〕

問 二次の①～⑤について、言葉の使い方が正しいものには○を、間違っているものには×を記しなさい。

① 弟は今でこそ健康だが、幼い頃は大変な病弱だった。

② あの先生は、英語だけでなくフランス語もしゃべれる。

③ もし私が彼の立場だったら、きっと泣き出していただろう。

④ ケーキを食べたりジュースを飲んでいるうちに、お腹がふくれてしまった。

⑤ 久しぶりに会った先輩は、すっかり大人びていて、とてもきれいくなっていた。

問 三 次の①～⑤について、後の語群の中のひらがなを漢字に直し、類義語を作りなさい。語群のひらがなは一度だけ使い、解答用紙に一字だけ記しなさい。

げん	⑤	④	③	②	①
にゆう	失望	追憶	穏和	繁栄	邪魔
ぼう					
りゆう	<input type="checkbox"/>	回	<input type="checkbox"/>	興	<input type="checkbox"/>
こ	滅	<input type="checkbox"/>	和	<input type="checkbox"/>	害
」					

問題は以上で終了です。

受験番号	氏名	採点
------	----	----

一	問一	a	e (老)	問二	α	問三	A	問四	i	ii	iii	iv	問五	問六	問七	問八	問九	問十	問十一
	b	c			d		v												

二	問一	①	⑤	問二	①	⑤	問三	①	⑤
	②	③	④		②	③		④	

受験番号	氏名	採点
------	----	----

問一	a	二んにち	b	近縁
	e	研		
	α	総合		
	β	単純		
問三	A	工		
	B	イ		
問四	i	ケ	ii	ウ
	v	カ	iii	ク
			iv	イ
			c	撰取
	d	かはん		

問一	①	ウ
問二	①	イ
問三	①	イ
問四	①	イ
問五	①	イ
問六	①	ウ
問七	①	イ
問八	①	イ
問九	①	イ
問十	①	イ
問十一	①	イ

問七	採集を人類が何万世代、何十万世代も続けていて、心も体も十分に適応しているから。
問八	現代の生活は一〇世代程度しか継続しておらず、生物の心体が環境に十分に適応するには、本来何万世代、何十万世代もの世代時間が必要であるから。
問九	多様な採集地からなるモザイク環境
問十	ヒトが自ら
問十一	ヒトが現代の環境に生物的にも文化的にも適応できていないという不適応現象は、今後ますます深刻化する可能性があり、この問題に対応するために、ヒトが本来求めていたモザイク環境を特徴とする「さとやま」で、子どもたちが遊んだり、学んだりして、感覚器官に刺激を与え、強い選択圧を作用させて知的能力を発達させること。

問一	①	ウ	②	イ
	③	ウ	③	ウ
	④	エ	④	エ
問二	①	×	②	○
	③	○	③	○
	④	×	④	×
問三	①	×	②	隆
	③	柔	③	柔
	④	願	④	願
	⑤	幻	⑤	幻

大問一は、問七・問八・問九が4点、問十一が7点、それ以外は各3点。大問二は各2点。